

# 浦安とみおか川柳会

## 十二月例会結果

日時： 令和4年12月13日(火)  
 出席者： 大西旅人、真田宣子、塩見和昭、谷口勝、  
 長谷川智、藤三休、三浦みちえ、光永ひかる、  
 森山裕子、山岸順、山口しだれ、山口昇柳

講師： 佐藤青樹

点数  
 講師 推奨 課題 「やる気」互選 講評\*佐藤青樹

11 残酷な鏡に奮起ダイエツト 裕子

絵が見え、面白くできました

9 さり気なく誉めるひと言子を育て ひかる

一読明快。上手くできました

7 百歳を視野に始めるフィットネス みちえ

百歳を目指す気力が読み取れますね

6 紅一点アドレナリンを掻き立てる 和昭

紅一点だからやる気出すのはわかるが、どんな紅一点か

参考：自衛隊紅一点の力痛

美味しさと誉められ母の腕まくり 裕子

子供たちに褒められたお母さんが、更にやる気だったのでしようか

4 二日酔やる気スイツチ故障中 勝

「やる気スイツチ故障中」が効いて面白くできました

ライバルに抜かされそうな棒グラフ 順

課題に寄りかかっているのでは

参考：ライバルに並べれ奮起するセール

夕陽燃え俺の闘志に火をつける 勝

何の闘志か分かると、もつと良くなるのでは

参考：柔道へ燃える夕日が火をつける

合格へ全部揃える参考書 順

一読明快の句

3 反対は一人ますます湧くファイト 順

何に反対されたのか、詠む人に任せた句。絵が見え難い

2 伝統の継承背負う梨園の子 裕子

唐の玄宗の故事を踏まえ、面白くできました

2 古希すぎてさらに句です破天荒 ひかる

破天荒の中身が分かるともつと良い句になるのでは

落ち込んだ部下を褒め上げ酒飲ます 勝

句意は分かりますがリズム感を勘案し

参考：縄のれん失意の部下を褒めて飲み

食材を前にレシピのあれやこれ みちえ

絵が見え、上手く出来ました

個人指導全額払い初日待つ しだれ

個人指導の絵が見えにくいのでは。例、受験ピアノ書道絵画

参考：進学へ個人指導の初日待ち

1 ジム通い体重落とし腹減らす 智

句意は分かりますがリズム感を勘案し

参考：体重を落とし腹減るジム通い

褒められていつの間にかやらやる気出す みちえ

一読明快の句

老いて尚足どり軽いペアルック 和昭

絵が見え、上手く出来ました

追い風をうまくつかんでホームラン 智

一読明快の句

没  
 リハビリの編んだマフラー背を越す リハビリの編んだマフラー背を越える

クローリングへ気合い入れすぎ肩痛め

住民は神様ですすぐやる課 住民は神様ですすぐやる課

庭造り苗買い過ぎの悪趣味へ

監督の一言叱咤決勝打 監督の叱咤へ奮起決勝打

課題「弱音」二人選

光永ひかる選

秀	客	人	地	天	軸
高い所苦手で乗れぬ観覧車 医療費が二倍で治療諦める 七度五分位で亭主弱音はき 弱音吐く友に寄り添い肩を抱く 弱気虫殺す薬はアルコール もう年だなんて弱音をはく卑怯 やっと喜寿白寿の道は遠すぎる 弱音はく子には勇気を半分こ 老いの日日弱音と強気せめぎ合う 終活の恋の未練は切れぬまま 一人居を決めたが時に人恋し 霧の中強弱交じる兜町 あの人と一緒にいたら風変わる	順 智 みちえ 裕子 勝 みちえ 和昭 みちえ 裕子 和昭 みちえ 裕子	順 智 みちえ 裕子 和昭 みちえ 裕子 和昭 みちえ 裕子	勝 しだれ	順	自由吟 山岸 順選
百越えの喪中ハガキに活もらう 生きがいは唄う・川柳・ボランテイヤ 武器を捨て輪に入りたいロシア兵 沈む世のドーハの熱気国おおう サッカーのドラマに熱くなるテレビ 旅割の功德もらって法事終え 物価高老後の夢が目減りする	和昭 昇柳 みちえ 和昭 裕子 和昭 裕子	和昭 昇柳 みちえ 和昭 裕子 和昭 裕子	和昭 昇柳 みちえ 和昭 裕子 和昭 裕子	和昭 昇柳 みちえ 和昭 裕子 和昭 裕子	自由吟 山岸 順選

課題「弱音」二人選

谷口 勝選

秀	客	人	地	天	軸
高い所苦手で乗れぬ観覧車 没の山凹んでしまう作句力 もう年だなんて弱音をはく卑怯 弱音はネいつでもボチへ優しい目 自信ありだけど後について来る 七度五分位で亭主弱音はき やっと喜寿白寿の道は遠すぎる 独り身に温い炬燵がほしくなる 老いの日日弱音と強気せめぎ合う 車庫入れがぐずり出したら黄信号 弱音吐く友に寄り添い肩を抱く 一人居を決めたが時に人恋し 弱音吐きグラスに希望注がれる 霧の中強弱交じる兜町 ボス猿に癌が見つかり地位追われ 弱気虫殺す薬はアルコール	順 裕子 みちえ しだれ ひかる みちえ 和昭 順 裕子 和昭 裕子 しだれ ひかる	順 裕子 みちえ 和昭 裕子 和昭 裕子 しだれ ひかる	裕子 みちえ しだれ ひかる	順	自由吟 山岸 順選
染めあげてオンリーワンの糸にする 冷蔵庫全部煮込んでおでん鍋 手を丸め産湯天使の大欠伸 里の荷はまず青虫がしゃしゃり出る あちこちに故郷作り税納め 若者の白紙に込めた強い意志 子育てと介護終えての赤い靴 揉め事をまるく納めてる諭吉さん ふる里の空き家獣に乗っ取られ	ひかる みちえ みちえ ひかる みちえ 裕子 勝	ひかる みちえ みちえ ひかる みちえ 裕子 勝	ひかる みちえ みちえ ひかる みちえ 裕子 勝	ひかる みちえ みちえ ひかる みちえ 裕子 勝	自由吟 山岸 順選

例会のお知らせ  
 日時 令和5年2月14日(火)  
 13:00~16:00  
 場所 富岡公民館  
 課題 「きらきら」 互選 :3句  
 「加える」 二人選 :3句  
 自由吟 :3句  
 第五回新春浦安大会 案内  
 令和5年2月11日(土)

「犬吠」12月 掲載会員句  
 暖かさ文字では見えぬ生の声(宣子)  
 無人駅孤独に浸り君偲ぶ(しだれ)  
 惚れ直す妻の笑顔の元気良い(昇柳)  
 魔女の子が踊るカボチャのカーニバル(裕子)  
 借老の同穴こぼむ墓事情(和昭)  
 甘酒へ下戸の呂律が回らない(順)  
 満月を横切り未来へ夢飛行(勝)  
 レントゲン心の奥を見透かされ(みちえ)

# 川柳いろいろ

## 没句

一人選句（弱音）

夕空にあの日のもしも浮かべてた  
老朽化マンション整備立ち消える  
寝言まで給料アップ願う妻  
疎外感去る時来たか居場所どこ

## 自由句

アルバムを閉じて未来へ星を見る  
木枯しに好かぬ女が乗ってくる  
老い楽しひとり遊びのブックカフェ  
ひさしぶり旅の証拠の土産品  
人並みになどと憶えたルート3  
どこへでもコロナインフル全て打ち  
値上げ時サツカー熱でかき消され  
インフレに賃上げ渋る小企業  
言い訳は聞かずバツサリ離縁状  
ピオラ句生きた喜び教えてる  
アメリカはマスク付けてはダメな国  
帰り道急ぐ夕映え燃える空  
8強をPK奪い歓喜まだ  
政治家の事務処理ミスが命取り  
聞く耳は十分あるがやる手ない  
女子ソフト上野余裕負けないわ  
サボルのを三割として生きている

## 犬吠十一月号 添削講座「駅」

今月の特選句

生きている音やかましい朝の訳

山口昇柳

現代生活を見事に切り取った佳作

## 川柳の理論と実践

新家完司

つまらない句とは何か（その一）

1 つまらない原因をさぐる

選を受けて活字になっていく句は良い作品ばかりのはず  
ですが、こころに響かない句も混じっています  
人それぞれ川柳観や感性が異なる程度はやむをえない  
しかしたまには立ち止まって「なぜつまらないと感じる  
のか」「この句のどこが悪いのか」考えて下さい

2 みんなが言っていることではないか？

・血圧を気にしながらも飲んでる  
・願わくばポックリ逝けたらなと思う  
・皺だらけの鏡見るのも嫌になる

・他に人が言ったことがない言い回しを工夫します  
耳に慣れているものは新鮮味がありません

・休肝日なおしやる先がない（開き直り）  
・ポックリと死んで皆を困らせる（身勝手な言い回し）

3 あたりまえではないか？

・鼻歌が出るのは機嫌いい証拠  
・喜びのあつた日の顔ゆるんでる

どこにも作者独自の見解や想いが入っていません  
・病院は行けば病気の人がいる  
・本人に電報は来ぬ葬儀場

形としては「当然と思われる状況や慣行をそのまま  
詠んでいるだけ」のように見えるが「決して当然で  
はないんだ」という作者の想いを読み取ることが出来る

4 格言くさくないか？

・前向きに生きると愚痴はでてこない  
・十指みな合わすとほとけさまになる

・神仏の加護がなければ生きられぬ  
寺院や教会の掲示板の言葉、僧侶や神父の説教そのまま

・神さまも見かけによらずいじめっ子  
・神様はいないと仏様がいう

・戒名へ人のランクがまだ続く  
弱さや迷いを正直に詠うのが川柳の姿勢です。神仏や

権力に対する「疑いや胡散臭さ」を勇気を持って述べる  
のも川柳の務めです。

## 鑑賞 犬吠 令和三年一月号より

フラワーライン

・千紫万紅より

どのように褒めてあげよう反抗期  
何だっけ君を口説いたあの言葉  
吊り革に昔愛した人の顔  
黙々とマスク行き交う交差点  
遠くなる故郷近くなる他人  
背てられず年を越しそなあれやこれ  
すっぴんも隠せるマスク有り難い  
綺麗好き夢の中でもゴミ集め  
一病を持って余生をゆるく生き  
コロナ禍で大きな顔をするニート

・黒潮集より

終章もまだ衰えぬ好奇心  
終い湯のゆったり明日の案をねる  
好きですと意外な言葉虚をつかれ  
明日の為今日の笑顔にラップする  
足どりがなぜか軽いね年金日

金波銀波（各地句会報）より

一行詩また夢で埋めつくす  
掛け蕎麦へたまにや奮発生卵  
お若いと言われ夢中でサプリ飲む  
対面が出来ずふくらむわだかまり  
静かなる余生かみしめ目刺し焼く  
押し寄せるコロナと風邪の冬の陣  
生きざまにほれた作家が勇気くれ  
結ばれてこんがらって半世紀  
営業とオレオレ詐欺が取る受話器  
ヒトラーを彷彿させる民主主義  
身の丈に合った同士が半世紀  
生き辛さ背負い町へと森の熊  
自動詞で生きる図太くしなやかに  
背筋ピンおばあちゃんとは言わせな  
松本隆子  
高橋和男  
千葉加津子  
丸山くみ  
近藤クニ  
田室 泰  
門間香津子  
藤原敏弘  
榎本ひかる  
小田やす英  
伊藤 修  
藤巻恵子  
吉田貞恵  
後藤華泉

18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
青春の夢の行く先迷い道	自分流ルートの旅の若返り	セールスの甘い言葉に買わされる	ドラレコがルート外れて迷い道	暗がりを選んで歩く二人連れ	街歩き筋が違えば色変わる	夜明けの散歩あの角曲がりポチに会う	登るより下るルートを嫌う靴	もう終点とても愛しい道だった	占いに人生行路教えられ	マイルート曲がりくねるが宝物	横道を許してくれぬ婿養子	分かれ道たどった先に幸運が	ローカル線お国訛を聞く旅路	伝播する東西文化絹の道	目的地にたどりつけずにスマホ見る	何回もルート確かめ路線バス	通い道新たな発見ここかしこ
36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19
									渋滞にナビと喧嘩の初詣	麻薬捜査謎のルートを暴きだす	大人へのドアこじ開ける反抗期	カーナビが新道通り海の中	この人と生きると決めた人生路	開いても平方根は食べられぬ	パソコンの前にオムスビ昼御飯	落とし物今日一日を追いかける	愛犬のナビでいつもの遊歩道